

やりがいのあるロータリークラブ
活動を実践しよう!

第2123回例会 令和4年10月3日

本日の例会プログラム 第2124回例会 令和4年10月17日
会員卓話 田中靖彦会員
菊池武英会員

10月の月間 地域社会の経済発展月間 米山月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(51) 52名
本日欠席者数	21名
本日出席者数	31名
出席率	62.00%

前々回修正出席状況	
メイクアップ数	0名
修正出席率	66.67%
メイクアップされた方	

ニコニコBOX	1件	2,000円
	累計	35,000円

募金箱	4,933円
	累計 52,102円

会長挨拶

開地俊昭会長



皆さんこんにちは。

10月を迎え、食欲の秋とか、スポーツの秋とか言われる時期になりました。来週の例会は祝日のためお休みですが、来週は何の祝日か皆ご存じでしょうか？

元々10月10日が祝日だったのですが、ハッピーマンデー制度が適用された、10月の第2月曜日になった祝日ですが、この日は「体育の日」ではなく「スポーツの日」です。祝日で唯一のカタカナ表記の祝日になるそうです。

10月10日がベースになったのは東京オリンピックの開会式が行われた日にちなんでなのですが、この日は晴れの特異日と言われ晴れる確率が高いのが由来になったという学説もあるそうです。

さて「体育」と「スポーツ」の違いは何だろうかと調べたところ「スポーツ」は身体運動の総称で、勝敗を競ったり、楽しみを求めるものであり「体育」は教育の一環として、運動能力や健康な生活を営む態度を養うことを指導するものであります。

どうしても学校教育における運動会とだぶり、戦前の国威掲揚と同一レベルの認識にもなり、いまでは表現を変える方が、今のご時世では楽なのかなとも思います。

そこで自主的にやるのが、スポーツで、教育として施されるのが体育と覚えておくといいかなと思います。

体育と言えば国民体育大会が2027年宮崎で開催される予定であります、その国民体育大会も

2024年から国民体育大会ではなく、国民スポーツ大会に名称が変更されます。2027年の宮崎国スポに向けて、みんなで、スポーツなどで心身を鍛え、その日をみんなで健康で迎えましょう。

幹事報告

田口幸登幹事



・2022～2023 年度、地区大会（鹿児島県鹿児島市）の最終案内です。今週で締めきります。宜しくお願いします。

ニコニコBOX



中原捷博会員

ちょっと、心がほっとするような事がありましたので…。

●結婚月

菊池武英会員、富井雄二会員、松田安典会員
山崎栄一郎会員、村野 裕会員、鈴木浩二会員



●誕生月

松田安典会員、井上竜志会員、中武照利会員



ロータリー情報委員会

大迫三郎委員長



ガバナーとその使命

10月2日（日曜）に都城グリーンホテルにて2011～2022年迄のガバナー経験者による、第2730地区創設70周年記念座談会に出席しました。

私が「ガバナーを引き受けたいきさつ」「一番力を入れた事とその実績」「ガバナーとして感動した事」「今後のガバナーへの提言」について発表しました。

ノミネーとして地区大会の挨拶で継ぎの言葉で大会会場の皆さんに伝えました。その内容と、座談会での私の話の要旨をお伝えいたします。

※以下2012年地区協議会冊子に掲載-----

一度しかない人生を私達は如何に全うすべきでしょうか。人の命はいつか終わります。どれ程惜しまれても、永遠を望まれても必ず終わります。終わった後に世に残るものは何でしょうか。残すべきものは何でしょうか。

財でしょうか、名声でしょうか。そのようなものは時の流れと共にはかなく消え失せて終わってしまうでしょう。百年人々が記憶し語り継ぐのは高く志に命を燃やし続けたその人の行跡こそなのかもしれません。

しかし、人間として一番大事な事は自分自身が誰かの為に、人の為にどのように尽くし心身を燃やし切れたか、そこに生まれる己に対する満足こそが残すべき大切なものではないでしょうか。

かつて多くの戦争で尊い命を捧げた兵隊さんは、家族の為に子孫の為に引いては国の存続の為に尽くす事に満足し短い人生を散らして行きました。その一瞬には自分のなし得る純粋な奉仕の精神が赤々と燃え輝いたのではないのでしょうか。

そこには自分の名前を残そうなどと言う事ではなく、ただひたすら自分の使命に対する満足の精神こそが宿っていたのではないのでしょうか。

そんな尊い奉仕の精神で守って戴いたこの国土は今、平和であります。しかし、平和であっても経済問題、安全保障の問題、更に今震災復興の問題、エネルギー問題、少子化人口減少問題、技術革新問題など解決すべき課題は山積みして居ります。だけれども、命を賭して奉仕の精神を捧げての苦勞など、はるかに軽いものであります。これらすべての課題を解決すべきロータリアンとしての使命は何をおいても職業奉仕こそ第一と考えます。今こそ私達は家族の為、お客様の為、従業員の為、お取引様の為、ロータリアンとしての職業奉仕の使命を果たすべきと思います。そのエネルギーの成果が社会の奉仕、青少年への奉仕、更には国際への奉仕に繋がっていくと信じて居ります。

ガバナー・ノミネーとして今一度、原点を見つめつつロータリアンの皆さんから大いに学ばせて戴きたく存じます。

自分の人生を自分の胸にこそ満足の奉仕が尽くせる事を祈りながら。

※以下2022年10月2日座談会での発表文-----

質問①

ガバナーをお受けしたときの状況並びにその時のお気持ち

回答：ロータリー入会1975年9月。その後15年経た頃、クラブの大先輩が「大迫君。間違ってもガバナーには成るなよ。」と箴言され、一瞬「とんでもない。想像を絶します。」と答えた。時を経てIM・地区協議会等、実行委員長、ガバナー補佐を経験した頃、数回に亘りガバナーの推挙。即拒否数回続き、5年後頃、宮崎南クラブの40周年を迎える。周辺の空気に圧迫され義務感に押される。我が能力の及ばざるを案じ万感身命を捧げる覚悟にて決断。2013-14年度ガバナーになる。

質問②

ガバナー年度の実績(何に一番力を注がれたか)

回答：

①会員増強第一として、『奉仕の精神』を原点とするロータリーブランドの認識啓蒙。

②特に「ロータリーと職業奉仕」についてレポートし、全会員に配布。ロータリーの魅力を

意識付け。五大奉仕の実践を職業が基盤であるとして認識の啓蒙。

- ③ ミッション・パッション・ビジョンを基本テーマにし、理解に努める。
使命感・情熱・将来展望 = 人生の基本。事業の基本。
- ④ 会員職業の闊達化 = 奉仕の実践の土台を学び合い行動する。
- ⑤ 会員個々の人格の陶冶 = 真のロータリアンを究極の目的として奉仕の実践。
- ⑥ 2730ジャパンカレントロータリーEクラブの創立。(2730地区第65番目) 関係会員の大きな協力を戴いた。

質問③

ガバナー年度で一番感動したこと(ガバナーを終えられての感想)

回答：

- ① ガバナー公式訪問フォーラムでの各クラブ代表(2名~3名)の「職業を通じての奉仕の実践」をテーマの発表に感動。130余会員の職業奉仕の赤裸々な姿に触れ、その中から地区大会に6名を選出発表。会場で嗚咽聞こえる。記録誌に全スピーチ130名を収録(顔写真添付)し地区会員に配布した。
- ② 幾多の感動・経験・出会い・学び。友情に深甚の感謝を捧げる。

質問④

今後ガバナーになられる方への提言(今後こうなって欲しい等のご希望)

回答：

- ① ロータリーの魅力は何かを伝えること。
- ② ロータリー哲学の原点は「奉仕」である。特には会員基盤は職業人であり「職業奉仕」である事。
- ③ 五大奉仕の実践は「会員職業の闊達」が土台であり並んで「会員個々の人格の陶冶」によって奉仕の心を涵養し真のロータリアンを目指す事。
- ④ 以上の事によって会員増強・退会防止に寄与せしめる事。
- ⑤ 「奉仕」の実践の成果は、その「対価の多少」でなく「人格の向上」そのものがロータリアンとして人生の「大いなる対価」である事。
希望については自分の努力の尚及ばざるを反省して自覚の念から愚直に申し上げました。

米山奨学委員会

大迫雅浩会員(代理)



今月は米山月間・地域社会の経済発展月間です。

本来は米山奨学委員会の野田委員長の卓話となっていました、急きょ欠席となりましたので私の方で代理で卓話をさせていただきます。

付け焼刃での内容になりますので、間違いがあればご指摘いただき、ご教示いただければ幸いです。

ロータリークラブにおける寄付は大きく分けて2つあります。

1. ロータリー財団

正式には「国際ロータリーのロータリー財団」です。非営利財団法人で、博愛、慈善、人道的かつ教育的目的をもつ効果的プロジェクトに対して補助金を支給しています。

具体的には「年次基金」と「恒久基金」と「ポリオプラス基金・その他指定プロジェクト基金」の3つに分かれていて、基本的にはクラブで予算組されます。

当クラブにおいては地区からの目標設定があり、年間150ドル×在籍人数分を年度初めに寄付しています。さらにはこれにプラスして、任意とはなりますがBOXに入っている封筒で各自年間15,000円以上を目標に寄付を集めています。※詳しくは11月の山地委員長からまたお話があると思います。

その累積として、個人に対する認証制度があり、ポールハリスフェローやベネフェクターなどはこれにあたります。さらにはクラブや地区に対する認証制度もあります。

<使用用途>

地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの他に財団の運営費や将来の新プログラムや拡張のための基金として積立

2. ロータリー米山記念奨学会

今回の主題になりますが、こちらは日本のロータリー独自の寄付の為に設立された公益財団法人となります。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本のロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を祈念する事業として、1952年に東京ロータリークラブで日本で学ぶ外国人留学生を支援

する国際奨学事業として始まりました。現在は日本のロータリー全体の共同事業となっています。

ロータリー財団の奨学金や政府奨学金のように学費や生活費のすべてを保証するものではなく、私費留学生の費用の一部を補助する趣旨のものです。

具体的には、

「普通寄付金」→クラブとして予算組して毎年する寄付（当クラブでは前期、後期各2,500円×在籍人数分を半期ごとに入金）

「特別寄付」→個人として任意で毎年納める寄付（当クラブでは年間15,000円を目標にBOXに入っている封筒がこれにあたります）

その累積として、個人や法人、クラブへの表彰制度があり、米山功労者表彰などがこれにあたります。

<使用用途>

ロータリー米山記念奨学金（当クラブで今年度支援しているワン・イハンさん）、世話クラブ・カウンセラー制度

詳しくは皆さんに配られた、新会員オリエンテーション用「今日からロータリアン」に掲載されています。ウェブで色々調べたりしましたが、いまいちシックリくる説明ができませんが、この冊子は大変解り易く、老眼の私にも優しい文字の大きさと、簡潔に色々な事が学べます。ぜひご活用ください!!

●宮崎南ロータリークラブ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212